

令和2年9月29日
桑名市地方創生会議

第2期「桑名市まち・ひと・しごと総合戦略」 の策定に向けて

市長公室 政策創造課

「桑名市まち・ひと・しごと総合戦略」及び関連計画の状況

年度	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	
(国) 総合戦略	第1期総合戦略					第2期総合戦略					
桑名市 総合計画	基本構想 10年										
	前期基本計画 5年										
	策定⇒					後期基本計画 5年					
桑名市 総合戦略	策定⇒	第1期総合戦略				→延長					
						⇒新型コロナ対策		第2期総合戦略			

国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、
桑名市総合計画「後期基本計画」が、令和2年度スタート

新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な経済情勢の悪化を受け
第1期「桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を**2年間延長**

新型コロナ対策を優先

地域経済の動向を見ながら、
第2期「桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進める

自治体を巡る環境の変化 ～現状と課題～



本物力こそ桑名力

持続可能なまちづくり ～課題の複雑化と多様化～

社会保障関係経費の増大
(限られた財源)

人口縮減・少子高齢化
(働き手の縮小)

公共建築物の老朽化
更新需要の到来

新型コロナウイルス感染症の蔓延

行政のデジタル化の遅れ

激甚化する災害への対応

持続可能なまちへ

成長し続けるまちへ

- ✓ これまで当然のことと考えられていた認識や思想、価値観が劇的に変化
- ✓ 時代の変化、複雑化かつ多様化する課題に適応していくためには、
「シンカ（進化）」していく必要がある

3つのシンカ ～本物(真価)であふれる桑名市へ～

芯化

新化

【価値観の見直しと創造】

目指す将来像を実現するため、揺るぎない信念を持ち続ける

【超スマート社会の構築】

新たな技術を活用し、新たな可能性を追求し続ける

真価
(本物)

進化

【戦略的な投資】

あらゆる変化に対応し、前進し続ける

3つのシンカ ～目指すべき方向性～

進化

【戦略的な投資】

地理的優位性を活かした「企業誘致の推進」
⇒「稼ぐ」力も備わった力強い財政基盤の確立

芯化

【価値観の見直しと創造】

より強固な「防災体制の確立」, 「生活の利便性向上」
⇒より安全に安心して、
便利に暮らすことができるまちへ

新化

【超スマート社会の構築】

「行政DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」
⇒新たな時代に対応する「スマート自治体への転換」

国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要①

第2期「総合戦略」 <地方創生の目指すべき将来>

<課題>

人口減少

東京圏への
一極集中

- 地方において地域社会の担い手が減少し、地域経済が縮小。更に、人口減少を加速させ負の連鎖に。
- 「まち」の機能が低下し、地域の魅力・活力が損なわれ、生活サービスの維持が困難に。



- 首都直下地震などの巨大災害による被害が大きなものに。

<地方創生の目指すべき将来>

⇒『将来にわたって「活力ある地域社会」の実現』と、『「東京圏への一極集中」の是正』を共に目指す。

将来にわたって「活力ある地域社会」の実現

人口減少を和らげる

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

魅力を育み、ひとが集う

地域の外から稼ぐ力を
高めるとともに、
地域内経済循環を実現する

人口減少に適応した
地域をつくる

「東京圏への一極集中」の是正

国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要②

第2期「総合戦略」 <第2期の主な取組の方向性>

1. 東京一極集中の是正に向けた取組の強化

①地方への移住・定着の促進



②地方とのつながりを強化

- ・関係人口の創出・拡大
- ・企業版ふるさと納税の拡充

地方移住の裾野を拡大

2. まち・ひと・しごと創生の横断的な目標に基づく施策の推進

①多様な人材の活躍を推進する

- ・多様なひとびとの活躍による地方創生の推進 等

②新しい時代の流れを力にする

- ・地域におけるSociety 5.0の推進 等

第2期「桑名市まち・ひと・しごと総合戦略」の策定に向けて

○今後の予定について

第2期「桑名市まち・ひと・しごと総合戦略」の策定に向けて、新型コロナウイルス感染症による影響等、社会情勢の変化を的確に捉え、新しい生活様式への対応等も見据えた方向性を検討しながら、令和3年度中の策定を目指し進めていく。